

「成田市立図書館サービス計画」における令和6年度の実績について

○図書館サービス評価の指標

「成田市立図書館サービス計画」では、図書館サービス全体の評価指標として、市民の図書館利用登録率、年間レファレンス¹処理件数、公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合の3つを指標とし、市民への図書館サービスの浸透を評価するものとしています。

令和6年度における実績は、各指標とも中間及び最終目標値並びに前年度実績を下回っているため、今後詳細な分析を行うとともに、目標値の達成に向けた取組内容の再検討等を進めてまいります。

指標1：市民の図書館利用登録率

…市民への図書館サービスの浸透を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	2024（R6） 年度実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
26.8%	27.9%	23.6%	22.3%	24.3%	22.6%	22.4%	29.5%	30.8%

指標2：年間レファレンス処理件数（本館、公津の杜分館、成田公民館図書室の合計）

…課題解決支援を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	2024（R6） 年度実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
21,178件	22,398件	19,838件	21,193件	21,977件	19,258件	18,560件	22,500件	23,000件

指標3：公開書架冊数に占める新規購入冊数の割合（本館、公津の杜分館の合計）

…蔵書の鮮度を評価する

2014年度 実績値	2019年度 実績値	2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値	2024（R6） 年度実績値	2025年度 中間評価 目標値	2030年度 最終評価 目標値
13.5%	12.6%	11.7%	11.7%	10.7%	9.7%	9.4%	13.0%	13.5%

○取組内容の自己評価結果について

「成田市立図書館サービス計画」に基づく令和6年度の実績は以下のとおりとなります。

¹ レファレンス：図書館利用者が学習や調査、研究等のために必要な資料及び情報を求めた際に、司書が図書館の資料と機能を活用して検索を支援し、回答の含まれる資料や情報源を提供するサービス。利用者と資料とを結ぶ業務であり、近代図書館の利用サービスの中心になるとされている。

【令和 6 年度 自己評価結果】

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	4	91	15	7	0	117
割合	3.4%	77.8%	12.8%	6.0%	0%	100%

【令和 5 年度 自己評価結果】（参考）

判定	A	B	C	D	E	合計
項目数	5	86	9	9	5	114
割合	4.4%	75.4%	7.9%	7.9%	4.4%	100%

※判定基準

- A:達成基準を満たし、かつ十分な成果がある
- B:達成基準を満たしている
- C:達成基準を満たしていない、あるいは満たしているが課題がある
- D:未実施
- E:方向転換

令和 6 年度に「A」又は「B」と判定をした取組は合わせて 95 項目あり、全体の 81.2%で、目標をおおむね達成できたと捉えております。なお、「A」判定とした取組は次の 4 項目です。

- ・資料の展示（1-ア-④）
- ・利用促進（周年事業を含む）（1-ウ-④）
- ・乳幼児向け閲覧スペースの設置（2-(1)-ク-①）
- ・学校との連携（2-(3)-カ-①）

令和 6 年度は、市制施行 70 周年及び図書館開館 40 周年であり、記念事業であるイベントや講座の開催に係る取り組みを行いました。集客の状況や講座アンケート結果での満足度も高かったことから、イベント、講座の項目を A 評価としました。また、青春 HiROBA の新設及び記念事業の開催に伴い、市内中学校や高等学校に連携を働きかける等、新しい試みと工夫を反映させた取り組みを行ったとして学校との連携を A 評価としました。

一方で、「C」又は「D」と判定をした項目は 22 項目（18.8%）あり、その内 2 年以上続けて「C」以下の判定となったものも 8 項目（6.8%）ありましたが、昨年度と比較しますと達成できなかった項目は減少し、計画的に取り組めたと考えております。